



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社ビーアールホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 1726 URL http://www.brhd.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 公康  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 天津 武史 TEL 082-261-2860  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
28年3月期第2四半期	8,152	△2.5	△311	—	△326	—	△345	—
27年3月期第2四半期	8,364	12.2	95	—	73	—	29	—

（注）包括利益 28年3月期第2四半期 △370百万円（－％） 27年3月期第2四半期 58百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△21.01	—
27年3月期第2四半期	1.78	—

（注）当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
28年3月期第2四半期	12,797	1,905	14.3	111.34
27年3月期	13,630	2,267	16.4	135.73

（参考）自己資本 28年3月期第2四半期 1,828百万円 27年3月期 2,228百万円

（注）当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	2.00	6.00
28年3月期	—	2.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	2.00	4.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年3月期第2四半期末については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	22,000	6.6	650	△20.0	570	△25.6	360	△23.2	21.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	17,240,000株	27年3月期	17,240,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	818,548株	27年3月期	818,548株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	16,421,452株	27年3月期2Q	16,422,262株

(注) 当社は、平成26年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

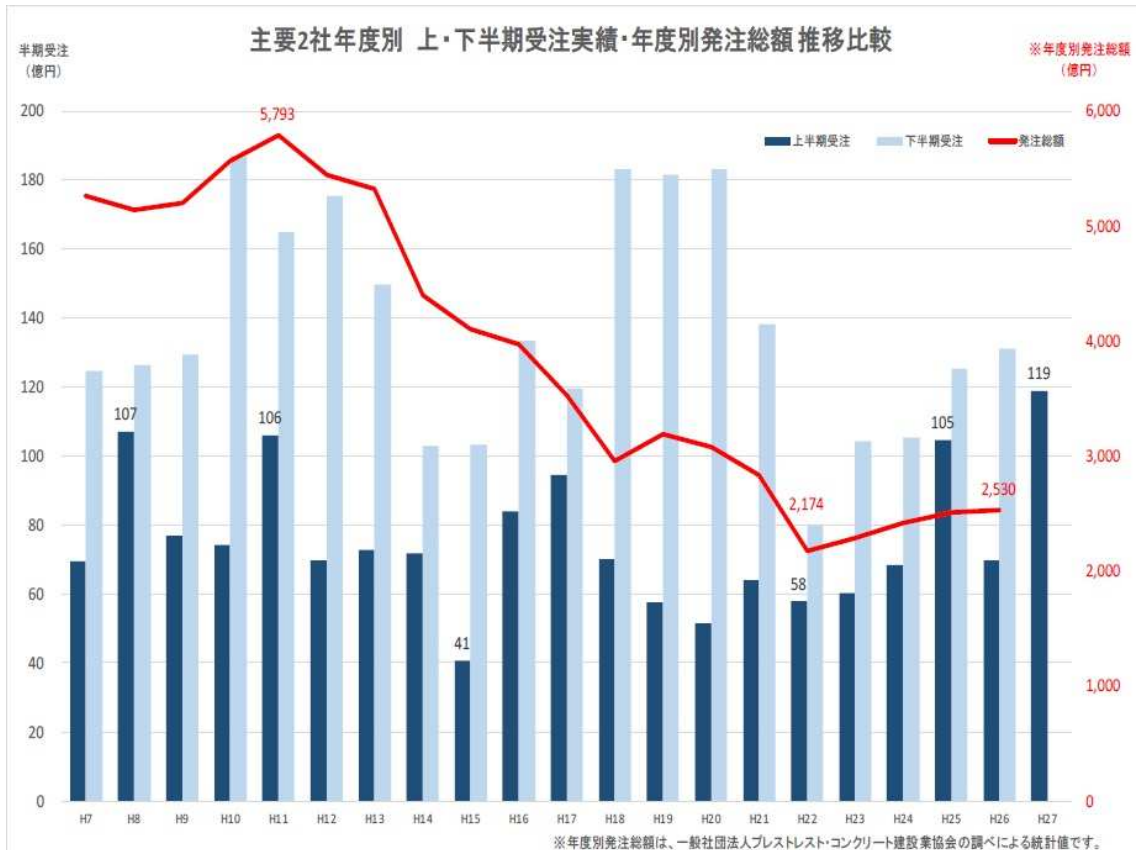
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	10
生産、受注及び販売の状況 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による積極的な金融、経済政策により企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調となったものの、中国をはじめとする海外経済の不透明感や個人消費における円安を背景とした物価高騰による買い控えの影響等もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの主力事業である建設事業におきましては、国土強靱化の推進、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けたインフラの整備、外かく環状道路の整備、高速道路大規模更新などにより、引き続き社会資本の計画的な整備が見込まれており、製品販売事業を含めた2015年度上半期の当社グループ主要子会社2社（極東興和株式会社、東日本コンクリート株式会社）合計の受注高が、118億78百万円（前年同期比70.4%増）と、過去最高の受注額を達成いたしました。



このような情勢の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は81億52百万円（前年同期比2.5%減）、営業損失は3億11百万円（前年同期 営業利益95百万円）、経常損失は3億26百万円（前年同期 経常利益73百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億45百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益29百万円）となりました。これは、建設事業において前期受注の相対的に粗利率が低い大型工事中心に完了したためであります。

なお、当社グループは、通常の営業の形態として第4四半期に完成する工事の割合が大きく、業績に季節的変動があります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、金額にはセグメント間取引を含めております。

(建設事業)

建設事業におきましては、高速道路会社を中心とした大型工事の受注が好調で、当第2四半期連結累計期間の受注高は107億44百万円（前年同期比84.9%増）となりましたが、前期から繰越した相対的に粗利率の低い大型工事の進捗により、売上高は66億80百万円（前年同期比8.1%減）、セグメント利益は47百万円（前年同期比88.5%減）となりました。

(製品販売事業)

製品販売事業におきましては、マクラギおよび耐震補強用建築部材等、主要顧客の需要が引き続き堅調に推移しており、当第2四半期連結累計期間の受注高は14億6百万円（前年同期比1.6%増）となりました。また、前期からの繰越製品の出荷が進み売上高は13億33百万円（前年同期比22.8%増）、セグメント利益は57百万円（前年同期比146.3%増）となりました。

(情報システム事業)

情報システム事業におきましては、アベノミクスの波及効果も現れてきておりますが、企業収益や設備投資の格差、都市部と地方の格差、円安によるコスト高、慢性的なSE（システムエンジニア）不足などまだら模様で不透明な状況にあります。当第2四半期連結累計期間の売上高は1億57百万円（前年同期比12.6%増）、セグメント損失は16百万円（前年同期 セグメント損失17百万円）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、当社保有の極東ビルディングにおいて、事務所賃貸ならびに一般店舗・住宅の賃貸管理のほか、グループ会社の拠点として、当社が一括して賃借した事務所を各グループ会社に賃貸しており、安定した売上高を計上しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は89百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は55百万円（前年同期比5.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は127億97百万円となり、前連結会計年度末比8億33百万円の減少となりました。その主な要因は、現金預金が6億32百万円、未成工事支出金が1億63百万円、商品及び製品が1億19百万円、有形固定資産が1億円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が19億58百万円減少したことによるものであります。有利子負債は4億81百万円減少し、38億85百万円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失3億45百万円の計上等より、前連結会計年度末比3億61百万円減少の19億5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

建設事業において受注が好調に推移しておりますが、その売上の大部分は来期以降に計上されることから、平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	814,959	1,447,500
受取手形・完成工事未収入金等	5,653,577	3,694,969
未成工事支出金	1,203,299	1,366,896
商品及び製品	745,152	864,723
仕掛品	34,468	45,253
材料貯蔵品	82,443	101,101
未収入金	885,847	964,010
繰延税金資産	86,072	86,072
その他	13,086	25,144
貸倒引当金	△1,943	△1,425
流動資産合計	9,516,965	8,594,247
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	1,061,871	1,061,045
土地	2,097,557	2,097,557
その他（純額）	238,912	340,029
有形固定資産合計	3,398,341	3,498,632
無形固定資産	74,260	97,381
投資その他の資産		
投資有価証券	474,855	442,747
繰延税金資産	63,696	73,711
その他	121,649	109,874
貸倒引当金	△19,261	△19,260
投資その他の資産合計	640,939	607,073
固定資産合計	4,113,541	4,203,087
資産合計	13,630,507	12,797,335

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	4,888,636	4,280,631
短期借入金	1,820,000	1,710,000
1年内返済予定の長期借入金	742,140	745,014
未払法人税等	74,922	23,887
未成工事受入金	1,407,823	1,950,529
賞与引当金	—	120,153
工事損失引当金	112,705	13,203
その他	372,768	474,512
流動負債合計	9,418,996	9,317,933
固定負債		
長期借入金	1,804,127	1,430,183
役員退職慰労引当金	3,100	—
その他	136,980	143,784
固定負債合計	1,944,207	1,573,967
負債合計	11,363,204	10,891,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,500	800,500
資本剰余金	163,806	163,806
利益剰余金	1,220,808	842,909
自己株式	△104,471	△104,471
株主資本合計	2,080,643	1,702,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,233	125,593
その他の包括利益累計額合計	148,233	125,593
新株予約権	—	41,292
非支配株主持分	38,425	35,804
純資産合計	2,267,302	1,905,434
負債純資産合計	13,630,507	12,797,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	8,364,788	8,152,205
売上原価	7,343,913	7,435,941
売上総利益	1,020,874	716,263
販売費及び一般管理費	925,283	1,027,937
営業利益又は営業損失(△)	95,590	△311,673
営業外収益		
受取利息	117	148
受取配当金	3,785	3,895
スクラップ売却益	6,019	9,405
その他	20,193	11,440
営業外収益合計	30,115	24,888
営業外費用		
支払利息	27,682	24,027
工事保証料	9,977	10,816
資金調達費用	5,058	—
その他	9,803	4,802
営業外費用合計	52,522	39,647
経常利益又は経常損失(△)	73,183	△326,432
特別利益		
投資有価証券売却益	—	957
特別利益合計	—	957
特別損失		
投資有価証券評価損	796	—
特別損失合計	796	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,386	△325,475
法人税、住民税及び事業税	47,949	22,877
法人税等調整額	△710	△676
法人税等合計	47,239	22,201
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,146	△347,676
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,093	△2,621
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	29,240	△345,055



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,146	△347,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,462	△22,640
為替換算調整勘定	△717	—
その他の包括利益合計	33,744	△22,640
四半期包括利益	58,891	△370,317
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,984	△367,695
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,093	△2,621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	72,386	△325,475
減価償却費	111,874	94,998
株式報酬費用	—	41,292
貸倒引当金の増減額(△は減少)	80	△519
賞与引当金の増減額(△は減少)	122,950	120,153
工事損失引当金の増減額(△は減少)	29,836	△99,501
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△3,100
受取利息及び受取配当金	△3,902	△4,043
支払利息	27,682	24,027
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△957
投資有価証券評価損益(△は益)	796	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,706,561	1,958,608
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△993,510	△163,596
たな卸資産の増減額(△は増加)	△318,744	△149,013
仕入債務の増減額(△は減少)	△305,277	△608,004
未成工事受入金の増減額(△は減少)	789,381	542,705
その他	△501,648	△51,069
小計	738,466	1,376,505
利息及び配当金の受取額	3,902	4,043
利息の支払額	△27,567	△23,446
法人税等の支払額	△13,348	△93,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,453	1,263,126
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△67,645	△82,663
無形固定資産の取得による支出	△9,426	△33,831
投資有価証券の取得による支出	△930	△930
投資有価証券の売却による収入	—	2,370
貸付けによる支出	△1,350	—
貸付金の回収による収入	2,646	946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△76,706	△114,109
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△90,485	△110,000
長期借入金の返済による支出	△226,854	△371,070
社債の償還による支出	△25,000	—
自己株式の取得による支出	△432	—
配当金の支払額	△32,848	△32,842
リース債務の返済による支出	△2,047	△2,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377,667	△516,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247,080	632,541
現金及び現金同等物の期首残高	1,006,741	764,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,253,822	1,397,500

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	7,270,281	990,381	79,091	25,033	8,364,788	—	8,364,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	95,694	60,732	64,332	220,758	△220,758	—
計	7,270,281	1,086,075	139,824	89,365	8,585,546	△220,758	8,364,788
セグメント利益又は損失(△)	416,265	23,438	△17,641	52,721	474,784	△379,193	95,590

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△379,193千円には、セグメント間取引消去△5,887千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△373,306千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	建設事業	製品販売事業	情報システム事業	不動産賃貸事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	6,680,776	1,333,623	112,248	25,557	8,152,205	—	8,152,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	45,137	64,304	109,441	△109,441	—
計	6,680,776	1,333,623	157,385	89,861	8,261,647	△109,441	8,152,205
セグメント利益又は損失(△)	47,979	57,722	△16,848	55,470	144,325	△455,999	△311,673

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△455,999千円には、セグメント間取引消去△2,645千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	製品生産重量 (t)	前年同期比 (%)
建設事業	12,900	59.3
製品販売事業	29,767	134.9
合計	42,667	97.4

(注) 当社グループの生産実績は、工場製品の製造における製品生産重量をもって実績としております。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)
建設事業	10,744,626	184.9
製品販売事業	1,406,505	101.6
情報システム事業	205,983	109.7
不動産賃貸事業	89,861	100.6
合計	12,446,977	166.6

(注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

報告セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
建設事業	6,680,776	91.9
製品販売事業	1,333,623	134.7
情報システム事業	112,248	141.9
不動産賃貸事業	25,557	102.1
合計	8,152,205	97.5

(注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 主な相手先の販売実績と総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
国土交通省	3,337,216	39.9	1,978,562	24.3

3. 上記金額には消費税等は含まれておりません。